

序

厚生省児童家庭局母子衛生課所管の心身障害研究課題のうちの小児慢性疾患臓器系に関する研究グループは昭和52年度より新しい研究テーマで発足し、2年目を迎えた。また昭和53年度より小児の尿路奇形に関する研究班が新たに加わった。

各研究課題と研究班員は次のごとくである。

1. 尿路疾患に関する研究
 - 1) 小児尿路染症に関する研究
研究班員 小林 収（富山医薬大）
 - 2) 小児の尿路奇形に関する研究
研究班員 吉田 修（京大泌尿器科）
2. 小児胸部疾患に関する研究
 - 1) 小児心筋炎に関する臨床的研究
研究班員 大国真彦（日大小児科）
 - 2) 先天性心疾患手術後の長期予後調査と管理基準に関する研究
研究班員 三枝正裕（東大胸部外科）
3. 川崎病の突然死予防に関する研究
研究班員 草川三治（東京女子医大小児科）
4. 日本人小児の高脂血症に関する疫学的並びに臨床的研究
研究班員 熊谷通夫（都立清瀬小児病院）
5. 小児気管支端見の臨床的研究
研究班員 小林 登（東大小児科）
6. 先天性四肢障害に関する臨床的研究
研究班員 馬場一雄（日大小児科）
7. 筋拘縮症発生子防に関する研究
研究班員 堀 誠（国立小児病院）
8. 乳児閉塞型黄疸の早期診断法の開発と管理基準の設定に関する研究
研究班員 白木和夫（東大小児科）
9. 若年性関節リウマチに関する研究
研究班員 寺脇 保（鹿大小児科）

本報告書はこれらの研究班の昭和53年度の研究成果をまとめたもので、多くの注目すべき業績が含まれており、中には既に実際に利用され始めているものも含まれている。各方面の御活用を期待するものである。

昭和54年6月

主任研究者（班長）

日本大学教授 大 国 真 彦

↓ **検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります ↓

序

厚生省児童家庭局母子衛生課所管の心身障害研究課題のうちの小児慢性疾患臓器系に関する研究グループは昭和 52 年度より新しい研究テーマで発足し、2 年目を迎えた。また昭和 53 年度より小児の尿路奇形に関する研究班が新たに加わった。

各研究課題と研究班員は次のごとくである。